

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 上津役 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

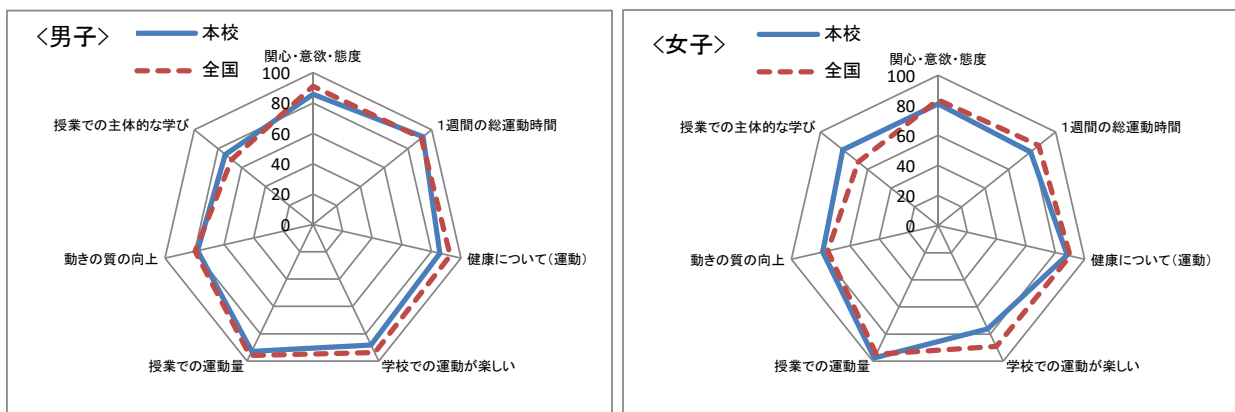
### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

タブレット端末を活用することで、子どもが自己の課題をとらえたり、よりよい動きを即座に確認したりすることができるようになった。そのことは、主体的に学ぼうとする姿につながっている。女子では、「学校での運動が楽しい」の項目が少し低い数値になっている。これは「1週間の総運動時間」の減少による運動不足も一因と考えられる。楽しい体育授業の在り方を、生涯体育という観点からも工夫する必要がある。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

学級担任や専科の先生が、体育の時間、導入時に「ジャンプアップ運動」や「ボディバランス運動」を位置づけ、運動することへの抵抗感をなくし、体を動かすことの楽しさを実感させる。また、主体的な学びに向け、自己課題の把握ができるよう、引き続きタブレット端末の活用をする。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

保健体育の時間や特別活動の時間など、学習を通じて子どもたちに基本的な生活習慣の大切さについて指導する。また、保護者には「早寝早起き朝ごはん」の取り組みや家庭学習・運動習慣の必要性など、「きほんのき」のリーフレット等を活用して、あらゆる機会に啓発する。